

### 30. 社会健康医学系専攻

( 分析項目Ⅰ 教育活動の状況 ..... 82 )

( 分析項目Ⅱ 教育成果の状況 ..... 82 )

## 分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 社会健康医学系専攻は、専任教員のみでコア5領域をカバーできる日本で唯一の「公衆衛生系専門職大学院」である。コア5領域とは疫学（コア領域1）、医療統計学（コア領域2）、環境科学（コア領域3）、保健医療管理学（コア領域4）、社会及び行動科学（医療倫理学を含む）（コア領域5）のことであり、これらの領域を構成する科目を必修、選択必修に指定し、5領域から最低1科目の履修を必要と定めている。
- 4つの特別コース（1年制 MPH コース、臨床研究者養成（MCR）コース（1年制）、遺伝カウンセラーコース、臨床統計家育成コース）を用意し、多様な学生を受け入れている。
- 地域の行政（京都府庁および京都市庁）と共同で講義を設定し、地域保健と保健医療福祉行政を学ぶ機会を設けている。また、地域の産業保健機関・産業医と共同で、地域や企業等での産業保健の現場を学ぶ機会を設けている。これらをもって「行政医学・産業医学」という科目を構成している。

## 分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。